

「格納容器水張りに向けた調査・補修（止水）技術の
開発」にて開発中のS/C（圧力抑制室）
下部外面調査装置実証試験のための床穿孔作業の
実施について

2014年4月24日
東京電力株式会社



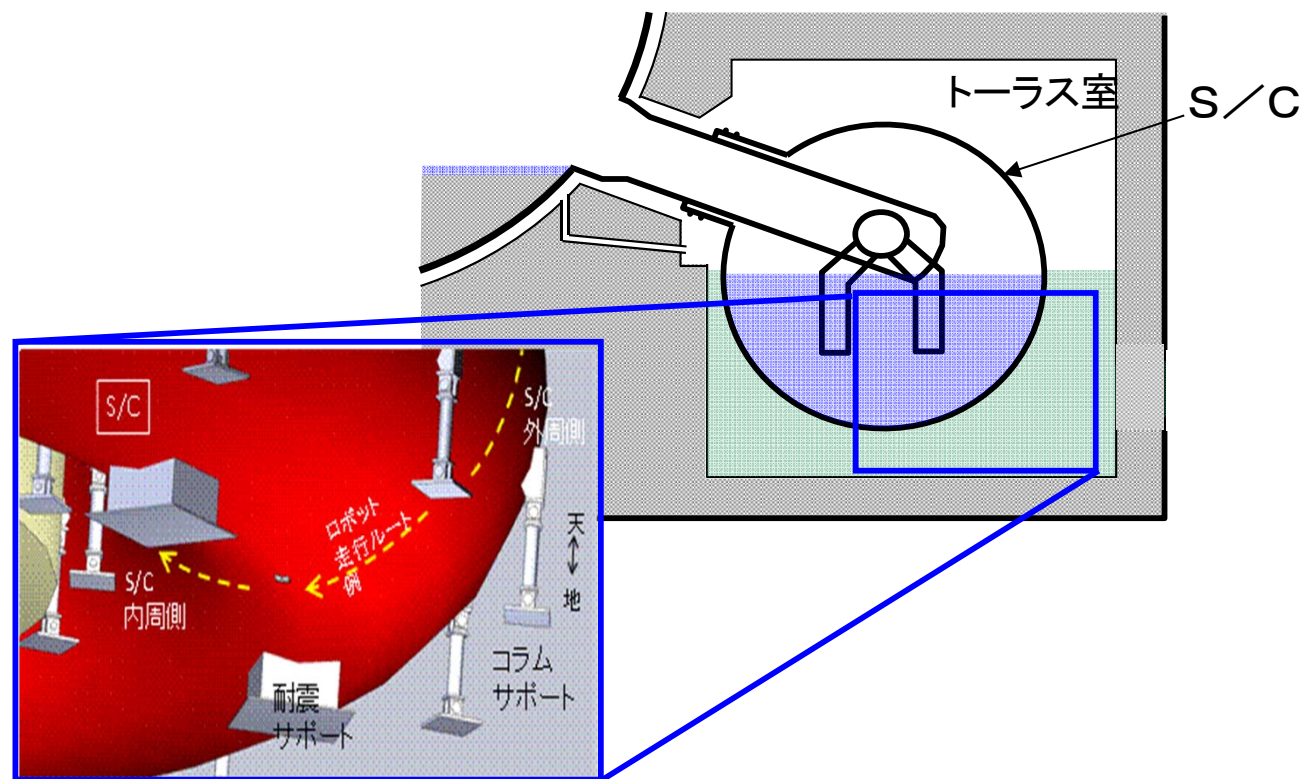
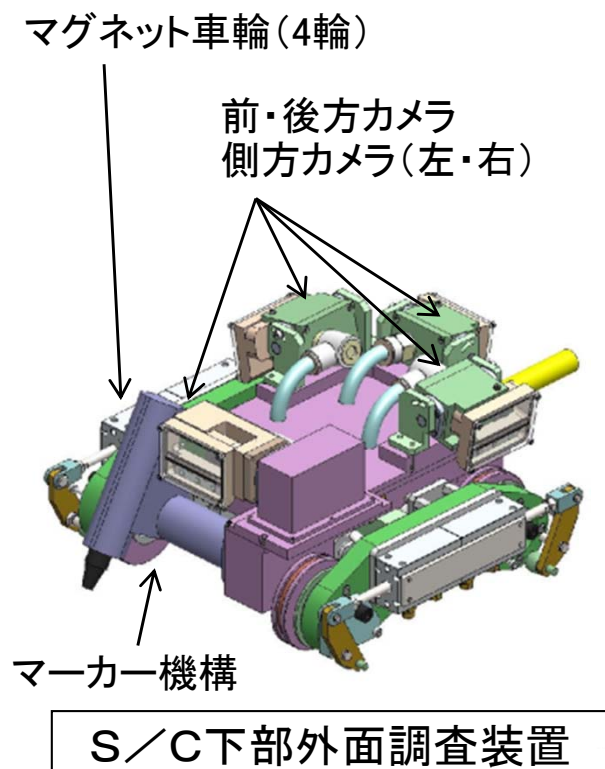
東京電力

IRID

本資料の内容においては、技術研究組合国際廃炉研究開発機構 (IRID) の成果を活用しております。

1. 概要

「格納容器水張りに向けた調査・補修(止水)技術の開発」で開発中のS/C下部外面調査装置について、実機での適用性を確認するため、2号機において実機検証を7～8月に計画。このための床穿孔作業を他作業との干渉を避けるため、先行して実施する。

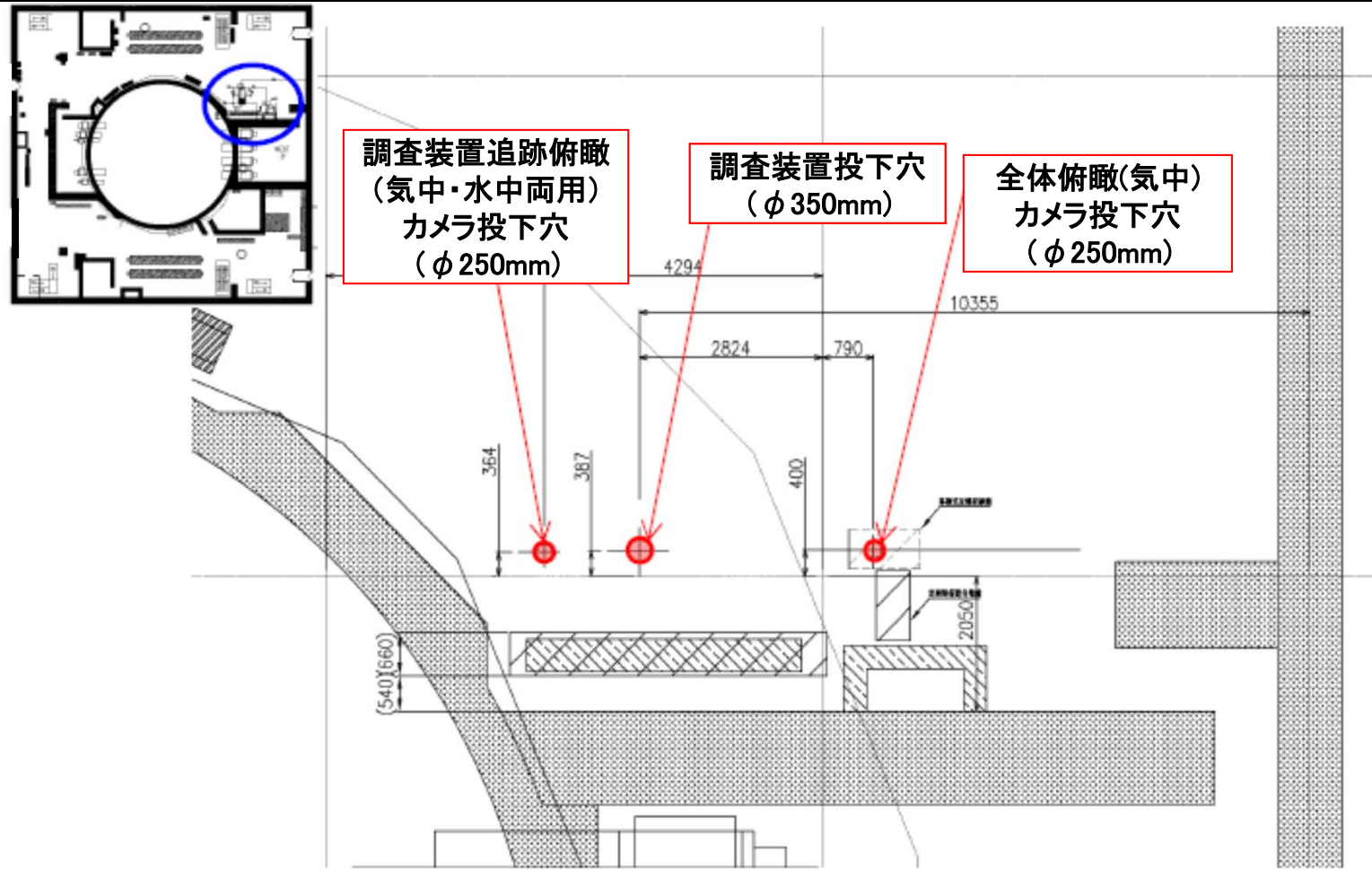


S/C下部外面調査イメージ図

2. 床穿孔位置

2号機原子炉建屋1階北東エリアに調査装置用(φ350mm)1箇所、俯瞰カメラ*(φ250mm)2箇所を穿孔。

* 俯瞰カメラ: 調査装置追跡俯瞰(気中・水中両用)カメラおよび全体俯瞰(気中)カメラ



2号機原子炉建屋1階穿孔位置図

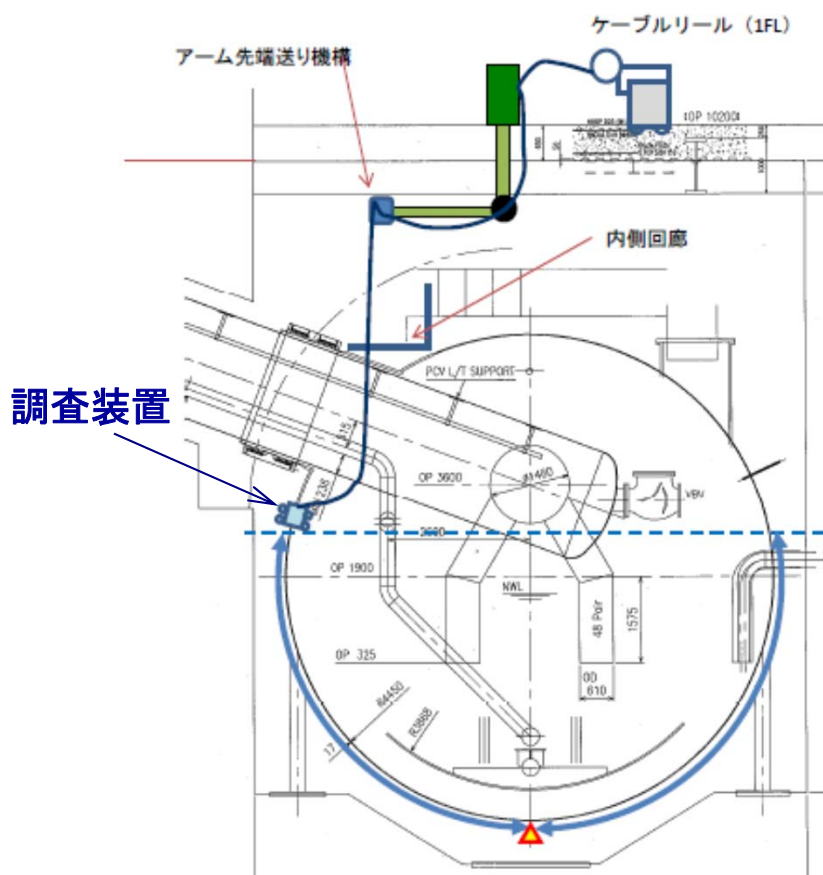
3. 実証試験スケジュール

2号機原子炉建屋におけるPCV常設温度計設置等の作業との干渉を避けるため、床穿孔作業の先行実施を計画。

	4月	5月	6月	7月	8月
国プロ ・S/C下部外面調査装置	4/10~4/16準備作業(干渉物撤去含む) 4/17~4/26床穿孔作業				実機検証(準備作業含む)
【参考】RPV代替温度計修理					
【参考】PCV常設温度計設置					
【参考】 研究開発 ・トラス室壁面調査装置 実証試験					

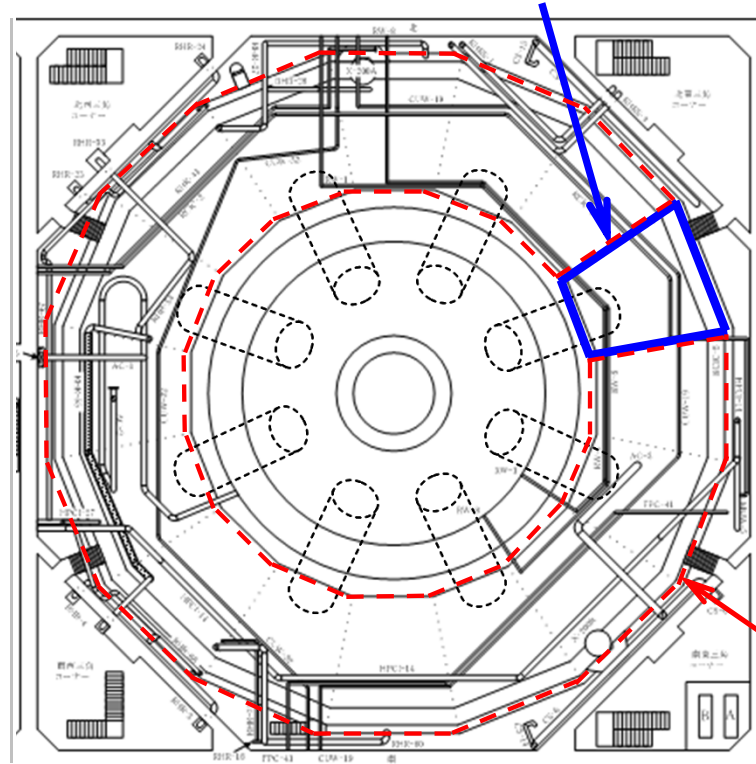
【参考】S/C下部外面調査装置実機検証概要

S/C下部外面調査装置は、トラス室滞留水に没水しているS/C下部に、止水材による止水が不可能となる開口（50mm）の有無を確認するもの（仕様としては30mmの開口を認識できること）。支援装置によりS/Cシェルに取り付き、没水部を走査し映像を取得する。



実機検証イメージ

実機検証対象S/C部位
(トラス室滞留水水没部)



赤点線部分：
調査工事としてH26年度下期に調査予定

実機検証対象部位